

平成21年度感染症報告事例のまとめ（前回報告分以降）について

- 平成21年4月15日報告分から21年6月29日までに報告（新規及び追加）があった感染症報告（疑い事例を含む。供血者からの情報により開始した遡及調査によるものを除く。）は、輸血用血液製剤24件である。輸血用血液製剤の内訳は、
  - B型肝炎報告事例： 6
  - C型肝炎報告事例： 10
  - HIV感染報告事例： 0
  - その他の感染症報告事例： 8
- B型肝炎報告事例
  - 輸血前後に感染症検査でHBs抗原（又はHBV-DNA）等が陽転した事例は3例（うち、輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は1例）。
  - 血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性の事例は1例。
  - 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例（劇症化例含む。）である。
- C型肝炎報告事例
  - 輸血前後に抗体検査（又はHCV-RNA）等が陽転した事例は8例（うち、輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は2例）。
  - 使用した血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性事例は0例。
  - 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例。
- HIV報告事例
  - 輸血前後に抗体検査等が陽転した事例は0例。
  - 使用した血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性事例は0例。
  - 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例。
- その他感染症報告事例
  - B型肝炎及びC型肝炎以外の肝障害報告事例は1件。
  - 細菌等感染報告事例において、血液製剤を提供した献血者の保管検体の無菌試験陽性事例は0例。輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例。

※症例一覧表において、事前発送資料からの修正・更新点は赤字で表記した。

日赤番号	課別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	供用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発症及の 場合の供血者保管検体 (抗原、抗体、NAT)(投与時点)	供血者発症及の 場合の供血者の検査値	
輸血によるHBV感染報告事例(疑い例を含む。)																									
供血者陽性事例																									
3-0900044	A-0900004	2009/6/10	2009/6/22	人赤血球濃厚液-LR 新鮮凍結輸入血漿-LR	男	髄膜炎	B型肝炎	06/12	HBsAg(-) (08/12) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBeAb(-) HBeAb(-) HBeAb(-) (08/12)	HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBeAb(-) HBeAb(-) (09/06)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBsAb(-) (08/12)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(+) (09/06)	陽性(輸血前)陽性(輸血後)	保管検体12本HBV-DNA(-) 1本HBV-DNA(+) 保管検体陽性の献血者に再来献血はない。	陽性となった当該輸血用血液と同一批血液と同一製剤番号の製剤として1本の原料血漿があり、確認済み。	16単位 10単位	7/136人はHBV関連検査陽性、1人はHBsAbのみ陽性であり当該献血においても同様であった。	8本の原料血漿、5本の赤血球濃厚液-LRを製造。原料血漿は全て確認済み。	赤血球濃厚液-LRは全て医療機関へ供給済み。	重篤	未回復			患者検体と献血者(HBV陽性保管検体)とのHBV塩基配列の相関性について調査予定	
陽転事例																									
3-0900027	A-0900007	2009/4/16	2009/5/1	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	血液腫瘍	B型肝炎	03/10-08/06 08/06 03/08	HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAb(+) HBeAb(+) HBeAb(-) HBeAb(-) (09/04)	HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAg(+) HBsAb(+) HBeAb(+) HBeAb(-) HBeAb(+) (09/04)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(+) HBsAb(+) HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(+) (09/04)	陽性(輸血後)	保管検体7本全部HBV-DNA(-)		6単位 8単位	2/7(HBV関連検査陽性)	6本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿は1本確認済み。	原料血漿5本は使用済み。新鮮凍結血漿、新鮮凍結血漿-LRは医療機関へ供給済み。	非重篤	未回復					

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	患者年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発源及 の場合の供血 者保管検体 (抗原、抗体、 NAT)(投与時 点)	供血者発源及 の場合の供血 者の検査確	
輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性																										
3-0900028	A-0900008	2009/4/17	2009/5/1	人血小 球濃厚 液(放射 線照射) 人赤血 球濃厚 液(放射 線照射) -LR	男	60	血液腫瘍	B型肝炎	09/02-03 09/02-03	HBsAg(-) HBsAb(-) (09/01)	HBsAg(-) HBsAb(-) (09/03)	HBV-DNA(+) (09/01)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) (09/04)	陽性(輸血前)陽性(輸血後)	保管検体29本全部HBV-DNA(-)			170単位 22単位	1/29(HBV陽性検査陰性)	25本の原料血漿、4本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿-LRは全て確保済み。		重篤	未回復			

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	患者年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発源及 の場合の供血 者保管検体 (抗原、抗体、 NAT)(投与時 点)	供血者発源及 の場合の供血 者の検査確	
隔転未確認事例																										
3-0900047		2009/6/17		人赤血 球濃厚 液-LR 新鮮凍 結人血 漿-LR	男	60	血液腫瘍	B型肝炎	08/12	HBsAg(-) (08/11)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAg(+) HBsAb(+) IgM- HBsAb(+) (09/06)	調査中	調査中	HBV陽性検査実施予定	保管検体22本についてHBV-NAT実施予定			32単位 30単位	調査中	調査中	調査中	重篤	調査中			
3-0900048		2009/6/17		人赤血 球濃厚 液(放射 線照射) -LR 人赤血 球濃厚 液-LR	男	60	肝・胆・膵腫瘍	B型肝炎	08/12 09/04	HBsAg(-) (08/09)	HBV-DNA(-) (09/03) HBsAg(+) (09/05) HBsAb(-) HBsAg(-) HBsAb(+) HBsAb(+) (09/05)	調査中	調査中	HBV陽性検査実施予定	保管検体5本についてHBV-NAT実施予定			6単位 2単位	調査中	調査中	調査中	非重篤	未回復			

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受理日	一般名	性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発症及の場合の供血者保管検体(NAT)(抗体、抗原)	供血者発症及の場合の供血者の検査値	
3-0900049		2009/6/19		人血小脳濾過液(放射線照射)	女	20	血液疾患-泌尿器系疾患	B型肝炎	08/07-09/05			HBV-DNA(-) HBsAg(-) (08/11) HBsAg(+) HBcAb(+) IgM-HBsAg(+) (09/05) HBsAg(+) HBcAb(+) IgM-HBsAg(+) (09/06) HBsAg(+) HBcAb(-) HBsAg(+) HBcAb(+) IgM-HBsAg(+)	調査中	調査中	HBV関連検査実施予定	保管検体1本についてHBV-DNA(-)		次回献血血液から1本の原料血漿、1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。照射濾過液小脳は医療機関へ供給済み(輸血された患者は輸血前よりHbC抗体陽性であり、HBs抗原の陽転化は認められていない。	20単位		1本の原料血漿を製造。原料血漿は使用中。	調査中	重篤	未回復		当法 08年9月1日 HBV関連検査(連及調査)個別NAT HBV-DNA(-) 次回 08年9月15日 HBV関連検査(連及調査)個別NAT HBV-DNA(+) 次次回 08年10月25日スクリーニングNAT (HBV陽性) 陽転献血
輸血によるHCV感染報告例(疑い例を含む。)																										
供血者陽性事例																										
(該当例なし)																										
陽転事例																										
3-0900034	A-0900032	2009/5/18	2009/6/1	新鮮凍結人血漿-LR 新鮮凍結人血漿 人血小脳濾過液(放射線照射) 人赤血球濃厚液-LR	男	40	血液腫瘍	C型肝炎	09/04	HCV-Ab(-) (09/04)	HCVコアAg(+) (09/05)	-	HCV-RNA(-) (08/04) HCV-RNA(-) (09/04) HCV-RNA(+) (09/05)	陽性(輸血後)	保管検体29本全部HCV-RNA(-)			2単位 15単位 170単位 24単位	5/29(HCV関連検査陰性)	22本の原料血漿、3本の新鮮凍結血漿-LR、1本の赤血球濃厚液-LRを製造。原料血漿、新鮮凍結血漿-LRは全て確保済み。	赤血球濃厚液-LRは医療機関へ供給済み。	重篤	未回復			

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受理日	一般名	性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発症及の場合の供血者保管検体(NAT)(抗体、抗原)	供血者発症及の場合の供血者の検査値
3-0900035	A-0900033	2009/5/19	2009/6/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	20	外傷-整形外科疾患	C型肝炎	03/04	HCV-Ab(-) (03/04)	HCV-Ab(+) (09/05)	-	HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (09/05)	陽性(輸血後)	保管検体6本全部HCV-RNA(-)			8単位	4/60(HCV関連検査陰性)	2本の原料血漿、6本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿は全て医療機関へ供給済み。	重篤	不明		
3-0900039	A-0900037	2009/5/25	2009/6/9	人赤血球濃厚液(放射線照射) -LR 人赤血球濃厚液-LR	男	60	調査中	C型肝炎	08/06	HCV-Ab(-) (08/05)	HCV-RNA(-) HCVコアAg(+) (09/05)	-	HCV-RNA(+) HCV-RNA(+) (09/05)	陽性(輸血後)	保管検体7本についてHCV-RNA(-)			12単位 2単位	5/7(HCV関連検査陰性)	5本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿は使用中。	新鮮凍結血漿-LRは全て医療機関へ供給済み。	非重篤	調査中		
3-0900040	A-0900038	2009/5/26	2009/6/9	人赤血球濃厚液(放射線照射) -LR	女	30	消化器疾患	C型肝炎	08/11-09/02	HCV-Ab(-) (05/06)	HCV-Ab(-) HCVコアAg(-) (09/04) HCV-RNA(-) (09/05)	HCV-Ab(-) HCVコアAg(-) (08/11) HCV-Ab(-) (08/11) HCV-Ab(+) (09/03) HCV-RNA(-) (09/03) HCV-Ab(-) (09/02) HCVコアAg(-) (09/03) HCV-RNA(-) (09/05)	HCV-RNA(-) HCV-Ab(+) (09/02) HCV-Ab(-) (08/11)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体4本についてHCV-RNA(-)		8単位	2/4(HCV関連検査陰性)	4本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。	-	非重篤	未回復			

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発源及 の場合の供血 者保管抗体 (抗原、抗体、 NAT)(投与時 点)	供血者発源及 の場合の供血 者の検査値
3-0900040001	A-0900000039	2009/6/8	2009/6/22	人赤血球濃厚液-LR	男	外傷、整形外科的疾患	C型肝炎	09/01	HCV-Ab(-) HCVコアAg(-) (09/01)	HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (09/05)	HCV-RNA(-) HCV-Ab(-) (09/01)	HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (09/06)	陰性(輸血前)陰性(輸血後)	保管抗体1本についてHCV-RNA(-)		2単位	0/1	1本の原料血漿を製造、原料血漿は確保済み。			重篤	未回復		
3-0900040002	A-0900000040	2009/6/8	2009/6/22	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	生殖腫瘍	C型肝炎	09/02	HCVコアAg(-) HCVコアAg(+) (09/02)	HCV-Ab(-) HCV-Ab(+) (09/05)	HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (09/06)	陽性(輸血前)陰性(輸血後)	保管抗体2本(全部)HCV-RNA(-)		4単位	0/2	2本の原料血漿を製造、原料血漿はすべて確保済み。			非重篤	未回復			
輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性																								
3-0900040001	A-0900000028	2009/4/28	2009/5/12	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	外傷、整形外科的疾患	C型肝炎	08/12	HCVコアAg(-) HCV-Ab(-) (08/12)	HCVコアAg(+) HCV-Ab(+) (09/04)	HCV-RNA(-) HCV-Ab(+) (09/04)	陰性(輸血前)陰性(輸血後)	保管抗体2本(全部)HCV-RNA(-)	人血清アルブミン		4単位	0/2	2本の原料血漿を製造、原料血漿は確保済み。			非重篤	不明		
3-0900040005	A-0900000044	2009/6/15	2009/6/26	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	腎臓系疾患	C型肝炎	09/04	HCV-Ab(-) HCVコアAg(-) (09/02)	HCV-Ab(+) HCV-Ab(+) (09/06)	HCV-RNA(-) HCV-Ab(-) (09/02)	陰性(輸血前)陰性(輸血後)	保管抗体3本(全部)についてHCV-RNA(-)		14単位	1/8(HCV関連検査陰性)	3本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿-LRを製造、原料血漿、新鮮凍結血漿-LRは全て確保済み。			非重篤	未回復			

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発源及 の場合の供血 者保管抗体 (抗原、抗体、 NAT)(投与時 点)	供血者発源及 の場合の供血 者の検査値	
隔転未確認事例																									
3-0900050000	A-0900000050	2009/6/25		人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	消化器疾患	C型肝炎	09/02	HCV-Ab(-) HCVコアAg(+) (09/02)	HCVコアAg(+) HCV-Ab(+) (09/06)	調査中	調査中	HCV関連検査実施予定	保管抗体4本についてHCV-NAT実施予定		8単位	0/4	4本の原料血漿を製造、原料血漿は使用の有無を調査中。	調査中	調査中	非重篤	調査中			
3-0900050001	A-0900000051	2009/6/29		人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	脳疾患	C型肝炎	08/01 09/02	HCV-Ab(-) HCVコアAg(+) (07/12)	HCV-Ab(-) HCV-Ab(+) (09/02)	調査中	調査中	HCV関連検査実施予定	保管抗体2本についてHCV-NAT実施予定		4単位	調査中	調査中	調査中	重篤	未回復				
輸血によるHIV感染報告例(疑い例を含む。)																									
(該当なし)																									
輸血による細菌等感染報告例(疑い例を含む。)																									
3-0900090002	A-0900000027	2009/4/27	2009/5/8	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	血液腫瘍疾患	細菌感染	09/04								使用済みバッグによる細菌培養試験を実施、陰性。セグメントチューブによるエンリッチメント検査基準値以下、非溶血性副作用関連菌培養実施。抗生物質タンパク質抗体検査：陰性。菌種タンパク質欠損検査：欠損なし。									
<p>指針値にシリンク。未精冷。血圧測定できず。死骸はなかった。院内にて患者血液培養実施、陰性。</p> <p>使用済みバッグによる細菌培養試験を実施、陰性。セグメントチューブによるエンリッチメント検査基準値以下、非溶血性副作用関連菌培養実施。抗生物質タンパク質抗体検査：陰性。菌種タンパク質欠損検査：欠損なし。</p> <p>疑証：採血8日目の照射赤血球濃厚液-LR(1本)調査結果を受けて担当区より細菌感染と輸血血液の因果関係はないと考える1件のコメントが得られた。</p>																									
																	2単位		1本の原料血漿を製造、原料血漿は確保済み。			重篤	回復		

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発源及 の場合の供血 者保管検体 (抗原、抗体、 NAT) (投与時 点)	供血者発源及 の場合の供血 者の検査値	
3-0900032	A-09000030	2009/5/15	2009/6/1	人赤血球濃厚液-LR	男	0	脳腫瘍	細菌感染症	09/05			輸血開始時BT 37.7℃、HR 80、発現日BT 38.0~39.0℃、HR 84。 使用済みバッグによる細菌培養試験は陰性。 院内にて実施の患者血液培養によりグラム陽性球菌 Staphylococcus hominis を同定。						2単位		1本の原料血漿を製造、原料血漿は確保済み。			非重篤	回復		
3-0900033	A-09000031	2009/5/18	2009/6/1	人赤血球濃厚液(照射)-LR	女	60	血液腫瘍	細菌感染症	09/05			BT 36.9℃→37.9℃ 転帰 院内にて実施の患者血液培養により Enterobacter aerogenes を同定	同一採血番号の血液(1本)で細菌培養を実施。適合。非溶血性副作用関連検査実施。抗血漿タンパク質抗体検査：陰性 血漿タンパク質欠損検査：欠損なし					2単位		1本の原料血漿を製造、原料血漿は確保済み。			重篤	軽快		

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発源及 の場合の供血 者保管検体 (抗原、抗体、 NAT) (投与時 点)	供血者発源及 の場合の供血 者の検査値	
3-0900036	A-09000034	2009/5/20	2009/6/2	人赤血球濃厚液(照射)-LR	女	90	脳疾患	細菌感染症	09/04			輸血終了翌日敗血症性ショック発現。発熱、血圧変動。16日後、患者敗血症、多臓器不全、DICにて死亡。院内にて実施の患者血液培養より Serratia marcescens を同定	当該製剤3本の内1本でエンドキソン濃度 2.0g/mL(基準値 1.0g/mL)を同定				被疑薬：採血8、9日目の照射赤血球濃厚液-LR(3本)  医師機関にてOVIテールよりSerratia arcescensを同定(09/05) 調査結果を受けて担当医より副作用-感染症と輸血用血液との因果関係なしと考えるなどのコメントが得られた。	6単位		1本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿-LRを製造、原料血漿は確保済み。新鮮凍結血漿-LRは全て確保済み。			重篤	死亡 患者は09年5月7日、敗血症、多臓器不全、DICにて死亡。剖検なし。死亡と本剤の因果関係なし(担当医の意)		
3-0900037	A-09000035	2009/5/25	2009/6/8	人赤血球濃厚液(照射)-LR	女	40	血液疾患	細菌感染症	09/05			白血球減少。悪寒。39℃の発熱。 院内にて実施の患者血液培養より Enterobacter raffinosus を同定	使用済みバッグ(1本)による細菌培養試験を実施。陰性。非溶血性副作用関連検査実施。抗血漿タンパク質抗体検査：陰性 血漿タンパク質欠損検査：欠損なし					2単位		1本の原料血漿を製造、原料血漿は確保済み。			非重篤	回復		
3-0900036	A-09000045	2009/6/15	2009/6/26	照射赤血球小体HLA	女	60	血液疾患	細菌感染症	09/06			36.7℃→37.6℃ 翌日一旦体温が低下したが夕方38℃ 患者の血液培養によりグラム陽性球菌を同定	同一採血番号の血液(1本)による細菌培養試験を実施予定。					20単位		調査中	調査中	重篤	未回復			



2. HEV-RNA陽性者の内訳

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診該当※1	喫食歴調査		避及対象供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
1	2005/01/04	32	M	57	-	-	+	無	不明レバー	生	無	
2	2005/02/07	38	F	11	-	-	+	無	ブタレバー	生	無	
3	2005/02/13	41	M	103	-	-	+	無	回答なし		無	
4	2005/03/25	65	F	17	-	-	+	無	回答なし		無	
5	2005/03/27	26	M	38	-	-	+	有	不明レバー(問診時)	生	有	赤血球製剤破壊のため院内廃棄
6	2005/04/10	54	F	20	-	-	+	無	ウシ精肉	半生	無	
7	2005/04/15	59	F	16	-	-	+	無	ブタホルモン、シカ精肉	十分加熱	無	
8	2005/04/15	35	F	16	-	-	+	無	シカ精肉、ウシ精肉 ウシレバー、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
9	2005/04/20	25	M	24	+	+	+	無	ウシレバー、ウシ精肉 ウシホルモン、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	有	感染なし
10	2005/04/28	22	M	44	-	-	+	無	回答なし		無	
11	2005/06/07	42	M	24	+	+	+	無	ウシ精肉 ウシホルモン、ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	有	原疾患により死亡
12	2005/06/22	51	M	52	-	-	+	無	回答なし		無	
13	2005/07/03	58	M	219	+	+	+	無	不明レバー、ブタ精肉	十分加熱	無	
14	2005/07/05	22	M	23	+	-	+	無	回答なし		無	
15	2005/07/05	38	M	15	-	-	+	無	ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉	半生	無	
16	2005/07/13	24	M	19	-	-	+	無	ウシレバー	生	有	原疾患により死亡
17	2005/09/02	33	M	49	-	-	+	無	ウシ精肉 ヒツジ精肉 ブタホルモン、ブタ精肉	生 半生 十分加熱	無	
18	2005/09/01	29	F	100	+	+	+	無	ウシホルモン、ヒツジ精肉 ウシレバー、ウシ精肉、ブタ精肉	半生 十分加熱	無	
19	2005/09/20	42	M	31	-	-	+	無	ブタホルモン、不明レバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	HEV感染(H17.11.1 運営委員会報告済み)
20	2005/09/27	20	F	10	-	-	+	無	ウシ精肉、ブタホルモン、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
21	2005/10/21	41	M	12	-	-	+	無	回答なし		無	
22	2005/10/25	44	F	38	+	+	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
23	2005/11/07	30	F	21	-	-	+	無	ブタホルモン、ウシ精肉、ヒツジ精肉 ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
24	2005/11/07	31	F	12	+	+	+	有	ブタレバー、ブタホルモン、ウシ精肉	十分加熱	無	
25	2005/11/20	28	M	47	+	+	+	有	ウシレバー、ウマ精肉 ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉	生 十分加熱	無	
26	2005/11/29	35	F	333	+	+	+	有	回答なし		無	
27	2005/12/13	42	M	30	-	-	+	有	ウシ精肉、ヒツジ精肉 不明レバー、ブタ精肉	半生 十分加熱	有	原疾患により死亡
28	2005/12/13	30	M	11	-	-	+	有	不明レバー	十分加熱	有	HEV感染(H18.01.28 運営委員会報告済み)
29	2005/12/22	62	F	14	-	-	+	無	回答なし		無	
30	2005/12/27	42	F	14	-	-	+	無	回答なし		無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診該当※1	喫食歴調査		避及対象供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
31	2006/01/02	22	F	12	-	-	+	有	ウシレバー、ウシ精肉	十分加熱	無	
32	2006/01/08	68	M	23	-	-	+	無	ウシレバー、ブタホルモン、ヒツジ精肉	半生	無	
33	2006/01/13	36	M	42	-	-	+	無	ウマ精肉、不明レバー ウシ精肉、ヒツジ精肉 ウシレバー、ブタ精肉、ブタホルモン	生 半生 十分加熱	無	
34	2006/01/18	53	M	238	+	+	+	有	ウシレバー、ウシホルモン	十分加熱	無	
35	2006/01/13	31	M	43	-	-	+	有	不明レバー ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
36	2006/01/17	48	M	25	-	-	+	無	回答なし		無	
37	2006/01/25	52	M	25	-	-	+	無	不明レバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	輸血後89日現在、HEVマーカーの陽転は見られず追跡調査終了
38	2006/01/30	39	F	22	-	-	+	無	回答なし		無	
39	2006/01/30	25	M	32	-	-	+	有	ウシ精肉、ウシホルモン、ブタ精肉	十分加熱	無	
40	2006/02/02	39	F	35	-	+	+	有	ウシレバー ウシレバー ヒツジ精肉	生 半生 十分加熱	無	
41	2006/02/07	57	M	13	-	-	+	無	不明	不明	無	
42	2006/02/07	40	F	172	+	+	+	無	ウシ精肉	十分加熱	無	
43	2006/02/17	39	M	28	-	-	+	無	ブタホルモン、ブタレバー、ブタガツ、ヒツジ精肉 イノシシ精肉、ブタ精肉	半生 十分加熱	無	
44	2006/02/20	58	M	22	-	-	+	無	ヒツジ精肉	十分加熱	無	
45	2006/02/21	45	M	30	-	-	+	無	ウシ精肉 ブタ精肉、ブタレバー、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
46	2006/03/01	46	F	15	-	-	+	無	回答なし		無	
47	2006/03/01	50	F	29	-	-	+	無	回答なし		無	
48	2006/03/02	54	M	47	+	+	+	無	ウシ、ブタ(精肉、レバー、ホルモン)、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
49	2006/03/27	40	F	12	-	-	+	無	回答なし		無	
50	2006/04/01	31	F	16	-	-	+	無	ヒツジ精肉	半生	無	
51	2006/04/04	30	F	14	-	-	+	無	ブタ精肉、不明レバー	十分加熱	無	
52	2006/04/12	38	M	45	+	+	+	無	ブタレバー、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
53	2006/04/18	21	M	26	-	-	+	無	ウシ精肉、ウシホルモン ウシ精肉、ウシホルモン	半生 十分加熱	無	
54	2006/04/22	28	M	14	+	+	+	無	回答なし		無	
55	2006/04/26	46	M	19	-	-	+	無	ブタレバー	半生	無	
56	2006/05/18	62	M	27	-	-	+	無	ヒツジレバー	十分加熱	無	
57	2006/07/07	17	M	33	-	-	+	無	回答なし		無	
58	2006/07/11	34	F	10	-	-	+	無	回答なし		無	
59	2006/07/12	21	F	27	-	-	+	無	回答なし		無	
60	2006/07/22	49	M	46	+	-	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉、ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診該当※1	喫食歴調査		避及対象供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
61	2006/08/01	62	M	18	-	-	+	/	ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
62	2006/09/06	44	F	14	-	-	+	/	喫食歴なし		無	
63	2006/09/29	68	M	15	-	-	+	/	ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
64	2006/10/21	29	M	22	-	-	+	/	不明		無	
65	2006/11/19	48	M	58	-	-	+	/	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
66	2006/11/23	54	M	18	-	-	+	/	回答なし		無	
67	2006/12/01	43	M	55	-	+	+	/	ブタ精肉	十分加熱	無	
68	2006/12/04	60	M	46	+	+	+	/	ウシ精肉	十分加熱	無	
69	2006/12/04	47	M	40	+	+	+	/	ウシ精肉、ウシホルモン	十分加熱	無	
70	2007/03/01	33	M	41	-	-	+	/	ウシレバー	生	無	
71	2007/03/15	42	M	32	-	+	+	/	ブタレバー、ブタホルモン	半生	無	
72	2007/03/27	55	M	30	-	-	+	/	不明レバー	十分加熱	無	
73	2007/04/07	22	F	9	-	-	+	/	ユッケ ウシホルモン、ヒツジホルモン	生 十分加熱	無	
74	2007/05/16	47	F	15	-	-	+	/	ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	
75	2007/05/18	40	F	27	+	+	+	/	ブタ生ハム(自家製)	半生	無	
76	2007/05/30	33	M	26	-	+	+	/	ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	
77	2007/06/22	38	M	20	-	-	+	/	ウシ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
78	2007/06/25	45	M	37	+	+	+	/	ブタ精肉 ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
79	2007/06/27	37	M	18	-	-	+	/	ブタ精肉	十分加熱	無	
80	2007/07/24	57	M	24	-	-	+	/	喫食歴なし		無	
81	2007/07/29	37	M	48	-	-	+	/	不明レバー、ブタホルモン 不明レバー、ブタホルモン	十分加熱 半生	無	
82	2007/07/31	48	M	30	-	-	+	/	ブタ精肉、ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	
83	2007/08/01	48	M	33	-	-	+	/	ブタ精肉 ウシ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
84	2007/08/04	53	M	28	-	-	+	/	ヒツジ精肉 ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
85	2007/08/26	50	M	60	-	-	+	/	ヒツジ精肉 ウシ精肉	十分加熱 生	無	
86	2007/09/05	41	M	29	-	-	+	/	喫食歴なし		無	
87	2007/09/18	41	M	23	-	-	+	/	ウシ精肉、ブタ精肉、ウシホルモン、ブタホルモン	半生	無	
88	2007/09/21	57	M	19	-	-	+	/	ブタホルモン	十分加熱	無	
89	2007/10/03	59	M	39	-	-	+	/	ブタレバー、ブタ精肉	十分加熱	無	
90	2007/10/03	19	M	40	-	-	+	/	喫食歴なし		無	

31

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診該当※1	喫食歴調査		避及対象供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
91	2007/10/09	35	M	19	-	-	+	/	ブタ精肉	十分加熱	無	
92	2007/10/18	30	M	31	-	-	+	/	ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
93	2007/11/16	24	M	5	-	-	+	/	不明		無	
94	2007/11/16	54	M	22	-	+	+	/	ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	
95	2007/11/18	45	M	47	-	-	+	/	ブタ精肉 ブタレバー	十分加熱 半生	無	
96	2007/11/19	58	M	13	-	-	+	/	レバー、ホルモン	不明	無	
97	2007/11/19	24	M	46	-	-	+	/	不明		無	
98	2007/11/24	36	M	25	-	-	+	/	不明		無	
99	2007/11/29	42	M	21	-	+	+	/	不明		無	
100	2007/11/30	31	M	42	+	+	+	/	レバー	不明	無	
101	2008/01/08	35	M	36	-	-	+	/	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
102	2008/01/17	48	F	13	+	+	+	/	ブタホルモン、シカ精肉 ウシ精肉	十分加熱 半生	無	
103	2008/01/29	57	M	22	-	-	+	/	ブタレバー、ブタホルモン	十分加熱	無	
104	2008/02/04	31	M	47	+	+	+	/	不明		無	
105	2008/02/06	57	M	20	-	-	+	/	ブタホルモン	十分加熱	無	
106	2008/02/13	42	M	35	-	-	+	/	不明レバー	十分加熱	無	
107	2008/02/13	60	M	37	+	+	+	/	不明		無	
108	2008/03/11	30	M	21	-	-	+	/	不明		無	
109	2008/03/25	34	F	28	-	-	+	/	喫食歴なし		無	
110	2008/03/26	32	M	41	+	+	+	/	ブタ精肉、ウシ精肉	十分加熱	無	
111	2008/03/29	54	M	26	-	-	+	/	ブタ精肉	十分加熱	無	
112	2008/03/30	19	F	9	-	-	+	/	不明レバー	十分加熱	無	
113	2008/04/16	48	M	13	-	-	+	/	不明		無	
114	2008/05/12	33	M	12	-	-	+	/	ブタ精肉、ブタホルモン	半生	無	
115	2008/05/28	39	F	29	-	-	+	/	不明		無	
116	2008/05/28	47	M	46	-	-	+	/	ブタホルモン	十分加熱	無	
117	2008/06/04	43	M	38	+	+	+	/	ウシレバー ウシホルモン、ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	生 十分加熱	無	
118	2008/06/07	42	M	11	-	-	+	/	ウシレバー ブタ精肉	生 十分加熱	無	
119	2008/06/23	48	M	17	-	-	+	/	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	半生	無	
120	2008/07/10	39	M	32	-	-	+	/	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉 ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	

32



No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診該当※1	喫食歴調査		遊及対象供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
121	2008/07/11	39	M	28	-	-	+	△	不明		無	
122	2008/07/26	34	M	35	-	-	+	△	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
123	2008/07/27	36	M	45	-	-	+	△	不明		無	
124	2008/07/30	24	M	10	-	-	+	△	不明		無	
125	2008/08/20	19	M	17	+	-	+	△	不明		無	
126	2008/09/03	30	M	28	-	-	+	△	不明		無	
127	2008/09/08	35	M	16	-	-	+	△	不明		無	
128	2008/09/09	23	F	24	-	-	+	△	ブタ、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
129	2008/09/16	33	F	18	+	+	+	△	不明		無	
130	2008/09/16	58	M	21	-	-	+	△	不明		無	
131	2008/09/17	62	M	37	-	-	+	△	ウシレバー、ブタレバー	十分加熱	無	
132	2008/09/23	42	M	36	-	-	+	△	ブタ精肉、ブタレバー	十分加熱	無	
133	2008/09/25	35	M	16	-	-	+	△	不明		無	
134	2008/09/27	30	M	22	-	-	+	△	不明		無	
135	2008/10/10	50	M	31	-	-	+	△	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	不明	無	
136	2008/10/11	39	F	15	-	-	+	△	ウマ精肉	生	無	
137	2008/10/14	56	M	13	-	-	+	△	不明レバー	生	無	
138	2008/10/18	38	F	23	-	-	+	△	不明		無	
139	2008/11/03	37	M	22	-	-	+	△	ウシホルモン、ブタ精肉	半生	無	
140	2008/11/11	41	F	11	-	-	+	△	不明		無	
141	2008/12/05	52	M	18	-	-	+	△	ブタレバー	十分加熱	無	
142	2008/12/20	47	M	22	-	-	+	△	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
143	2009/01/13	50	M	27	-	-	+	△	ウシ、ブタ(精肉、レバー、ホルモン)	十分加熱	無	
144	2009/01/27	55	M	17	-	-	+	△	不明		無	
145	2009/02/11	37	M	28	-	-	+	△	不明ホルモン	十分加熱	無	
146	2009/02/16	59	F	23	-	-	+	△	ブタレバー	不明	無	
147	2009/02/23	20	F	42	-	+	+	△	ウシ、ブタ精肉	半生	無	
148	2009/03/11	29	M	49	-	-	+	△	ブタレバー、ホルモン	十分加熱	無	
149	2009/04/16	35	F	29	-	-	+	△	ウシレバー ウシ、ブタホルモン	半生	無	
150	2009/04/24	36	F	42	-	-	+	△	不明ホルモン	不明	無	
151	2009/04/27	45	M	50	-	-	+	△	不明	不明	無	

※1: 問診喫食歴調査内容  
05年1月1日～05年10月31日: 「過去3ヶ月以内にブタ、シカ、イノシシあるいは動物種不明の生肉、生レバーの喫食歴」  
05年11月1日～06年03月31日: 「過去3ヶ月以内に生肉(半生も含む)、レバー、ホルモン(動物種、焼き方を問わず)の喫食歴」。なお本調査は06年03月31日をもって終了

33

日本赤十字社血液事業本部 御中

薬事・食品衛生審議会血液事業部会事務局  
厚生労働省医薬食品局血液対策課

事務連絡  
平成21年6月23日

血液製剤に関する報告事項について

血液事業の推進に御努力いただき、厚く御礼申し上げます。  
さて、標記につきましては、平成21年4月21日付け血安第185号にて貴社から報告を頂いたところですが、平成21年7月28日(火)に平成21年度第2回血液事業部会運営委員会が開催されますので、下記の事項について資料を作成いただき、平成21年7月3日(金)までに当事務局まで御提出いただきますようお願いいたします。記の11については、平成21年5月14日開催平成21年度第1回血液事業部会運営委員会提出資料を更新のうえ、再度御提出ください。  
なお、資料の作成に当たっては、供血者、患者及び医療機関の名称並びにこれらの所在地又はこれらの事項が特定できる情報を記載しないよう、個人情報及び法人情報の保護に特段の御配慮をお願いいたします。

記

- 平成15年9月5日付けで報告された輸血用血液製剤でH1Vの感染が疑われる事例について、残る2人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
- 平成16年3月22日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る5人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
- 平成16年11月26日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る7人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
- 平成17年1月12日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る4人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。

査結果。来訪がなければ、その旨。

5. 平成17年2月4日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
6. 平成17年6月23日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る4人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
7. 平成18年4月7日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る9人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
8. 平成18年6月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
9. 平成19年2月20日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
10. 平成18年2月15日報告、3月8日付けで追加報告された輸血用血液製剤でHCV（C型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る3人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
11. 試行的HEV20プールNATについて、その後の調査実施状況。

血安第272号  
平成21年7月3日

厚生労働省医薬食品局血液対策課長 様

日本赤十字社  
血液事業本部長

血液製剤に関する報告事項について（回答）

平成21年6月23日付事務連絡によりご依頼のありました標記の件については、下記のとおり資料を作成しましたので報告いたします。

記

1. 平成15年9月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHIVの感染が疑われる事例について、残る2人のその後の来訪なし。（8名中6名が来所、検査は全て陰性）
2. 平成16年3月22日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る5人のその後の来訪なし。（37名中32名が来所、検査は全て陰性）
3. 平成16年11月26日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る7人のその後の来訪なし。（48名中41名が来所、検査は全て陰性）
4. 平成17年1月12日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る4人のその後の来訪なし。（16名中12名が来所、検査は全て陰性）
5. 平成17年2月4日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人のその後の来訪なし。（追跡調査対象の4名中3名が来所、HBV-DNAは全て陰性。1名はHbc抗体がEIA法のみ陽性HI法陰性、その他の者は全て陰性）

6. 平成17年6月23日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV (B型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る4人のその後の来訪なし。(20名中16名が来所、検査は全て陰性)
7. 平成18年4月7日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV (B型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る9人のその後の来訪なし。(53名中44名が来所、HBV-DNAは全て陰性。2名はHBe抗体及びHBs抗体陽性、1名はHBs抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性)
8. 平成18年6月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV (B型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る1人のその後の来訪なし。(29名中28名が来所、HBV-DNAは全て陰性。2名はHBe抗体及びHBs抗体陽性、1名はHBs抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性)
9. 平成19年2月20日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV (B型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る1人のその後の来訪なし。(3名中2名が来所、検査は全て陰性)
10. 平成18年2月15日報告、3月8日付けで追加報告された輸血用血液製剤でHCV (C型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る3人のその後の来訪なし。(81名中78名が来所、検査は全て陰性)
11. 試行的HEV2.0ブールNAITについて、その後の調査実施状況については別紙のとおり。

### 安全対策業務の流れ

